

議会報告会 実施報告書

実施日時	平成24年11月30日（金）19:00～20:48		
会場	南公民館	来場者数	15人
主担当班	B	前川和治、田中和義、有馬茂人、北村伸治、原幸雄、増田敬	
		司会進行	前川和治
		報告	(1) 原 幸雄 (2) 有馬茂人
		パワポ操作	田中和義 記録 増田 敬
副担当班	D	北條正、力野豊、山本貴美子、常岡大三郎、高野新一	

1 質疑応答及び意見

(1) 9月定例会の主な審議内容報告

Q1：原電の3・4号機の見通しが立たない中、具体的な雇用対策はどのようなものか。

A1：長期的な雇用は大事だと考えている。既存の企業に対しても補助金などを活用し雇用を増やそうとしている。しかし原子力の雇用は約1万人と大きく、対策が追いつかないのが現状である。

原発稼働停止に伴う県の施策がメインで、県の緊急雇用対策事業を本市でもやっている。

Q2：緊急雇用対策事業について、41件中4件と参加民宿が少なすぎる。のんきに構えているのではなく積極的な姿勢を求めるよう議会も努力すべき。

A2：県の事業として下りてきたものであり、観光まちづくりの起爆剤として、少なくともやれるところからやっっていこうということである。

Q3：雇用対策事業は今後も続いていくのか。

A3：県の施策で、補助を受け敦賀市としてメニューを作り実施している緊急雇用対策であり、今後は県と協議していく。

Q4：駅前の太陽光パネル設置の意味は。脱原発のようなイメージは持たれないか。

A4：敦賀は原子力という頭があったと思うが、エネルギーの街ということでそのシンボリックな意味合いがある。脱原発のイメージということに関しては、感じ方は人それぞれなのでわからない。

Q5：デザイン設計者はどうして太陽光パネルを設置したのか。

A5：エコというイメージで太陽光パネルの設置を考えた。

Q 6 : 太陽光パネルを設置した場合、除雪の際に不便ではないか。アーケードの上に設置した方がよいのではないか。

A 6 : 議会でも同じ意見があった。融雪装置があるので心配はない。アーケードの上は採光の関係もあり太陽光パネルは設置できないということに至った。

Q 7 : デザイン設計者は東京の方なので雪国のことはわからないのではないか。

A 7 : 敦賀は沢山雪が降るということを設計者には伝えている。

意見 : 敦賀は山が沢山あり、緑に囲まれている。デザインは斬新であり太陽光パネルの設置には賛成である。

意見 : 敦賀駅は滋賀県の小さな駅と比べても I C O C A などの機能が劣る。J R 金沢支社直轄にいるよりも J R 京都支社直轄の方が敦賀駅は機能がアップするのではないか。

Q 8 : 福島の事故は他人事ではない。原発事故があった場合対応はどうなっているのか。議員は福島のことを自分のことと捉え対応していただきたい。

A 8 : 安全対策をしっかり要請していく。

Q 9 : 国の原発政策が混沌としている中で、一地方の敦賀市議会が意見を言ったところで国は対応するのか。

A 9 : 嶺南地域が一体となり国に対して要望活動を行った。効果としては出てきているのではないか。

意見 : 原発停止に対する経済対策については議員全員が真剣に考えるべき。国政では原発が争点になっている。議会は財政計画をしっかりと見て、事業の見直しをやっていくべきだ。行政だけでなく、議会も今後の財政を考えていかななくては敦賀市がダメになる。

(2) 議員定数についての検討状況報告

Q 1 : 議員を少なくすると選挙で淘汰され、議員の資質も向上するのではないか。

A 1 : 市民の声は削減だというのはわかっている。議会の機能を維持する為にはどうしたらいいか議論した中間結果を今回報告している。

Q 2 : 報告を聞くと、7人×3委員会で21人でいいのではないか。区長会では20人でいいのではないかと意見も出ている。資質が劣る議員がいるので議員定数削減の声が出ていると思う。

A 2 : 市民の議員定数削減の声は聞いている。ご意見を参考にする。

Q 3 : 県内だけでなく、全国の敦賀と同じ人口の議員数を調べるべきである。
A 3 : 全国的には敦賀と同じ人口のところは沢山あり、ご意見を参考にさせていただく。

Q 4 : 議会事務局を活用し、議員がしっかりした政策提案をすべき。
A 4 : 議会運営委員会でも、みなさんの御意見を揉み議論していきたいと思う。

意見 : 市民の多様な声を聞くためには地区の行事には顔を出すべきである。

(3) 市民の市議会や市政へのご意見

Q 1 : 看護大学の開設は大丈夫なのか。
A 1 : 議会としても執行部に対し確認している。

Q 2 : 敦賀短期大学や図書館の資料で、日本史科の資料は今後どのように保存していくのか。
A 2 : データ化して保存していく予定。

Q 3 : 国道 8 号の周辺の街づくり計画について議員はどのように考えているのか。
A 3 : 議員個人の意見は言えないが、行政は国に対し要望はしている。時期は未定。

意見 : 議会としても、財政計画をしっかりつくるべきである。

意見 : アクアトムの活用が問題になっているが、敦賀市には県の施設がないので、県が維持管理をし活用すべきである。

敦賀市議会議長 堂前 一幸 殿

平成 2 4 年 1 2 月 1 8 日

敦賀市議会報告会実施要綱第 1 0 条第 1 項の規定により提出します。

代表者 B 班 前 川 和 治